

## TS-1 服用患者の経過と監査における注意点

平成 28 年 3 月 10 日 太郎丸店

昨年 11 月から抗悪性腫瘍薬 TS-1 の処方があり、1 月からさらに 1 名増えて現在 2 名の患者に TS-1 を投薬中です。処方監査時の注意点を調べました。参考文献は添付文書及び大鵬薬品 HP です。

### ●太郎丸店に来局の患者 2 名の TS-1 服用開始から現在までの経過

A さん 男性 67 歳

2015	11/12	TS-1 OD20	6T 分 2	2w 服用-1w 休
	12/3	TS-1 OD25	4T 分 2	吐き気等厳しい→TS-1 50mg/回に減量
	12/24	同上		手の黒ずみあり。ヘパリン類似物質クリーム処方。
2016	1/14	同上		手のひら、足裏の黒ずみあり。食欲少し減。
	2/4	同上		症状安定
	2/25	同上		症状安定

感染症に注意しつつ 2w 服用-1w 休を 1 クールとして服用継続中。便秘薬や止瀉薬の処方一度あったのみで症状は軽度の様子。

TS-1 服用当初からナウゼリン 10 を併用（毎食前）。

他に以前からの定期薬として以下 4 種を併用。

- ・テネリア 20
- ・六君子湯
- ・モサプリド 5
- ・リパクレオン 150

B さん 女性 78 歳 膵臓ガンステージ 2

2016	1/6	TS-1 OD25	4T 分 2	2w 服用-1w 休（1w 分処方）
	1/13	同上	（1w 分追加）	吐き気はナウゼリンで対応できている
	1/27	同上	（2w 分）	味覚異常あり。
	2/17	同上		吐き気と便秘あり。センノシド処方。少し疲れた様子。

感染症に注意しつつ 2w 服用-1w 休を 1 クールとして服用継続中。2/17 の聞き取りでは、感冒や貧血はないが消化器症状があり少しつらい様子あり、一週間休薬の最終日である今日が一番楽とのこと。

TS-1 服用当初からナウゼリン 10 を併用（頓服）。

他に以前からの定期薬として以下 3 種を併用。

- ・ネキシウム 20

- ・パンテチン 100
- ・マグミット 330

## TS-1 概要

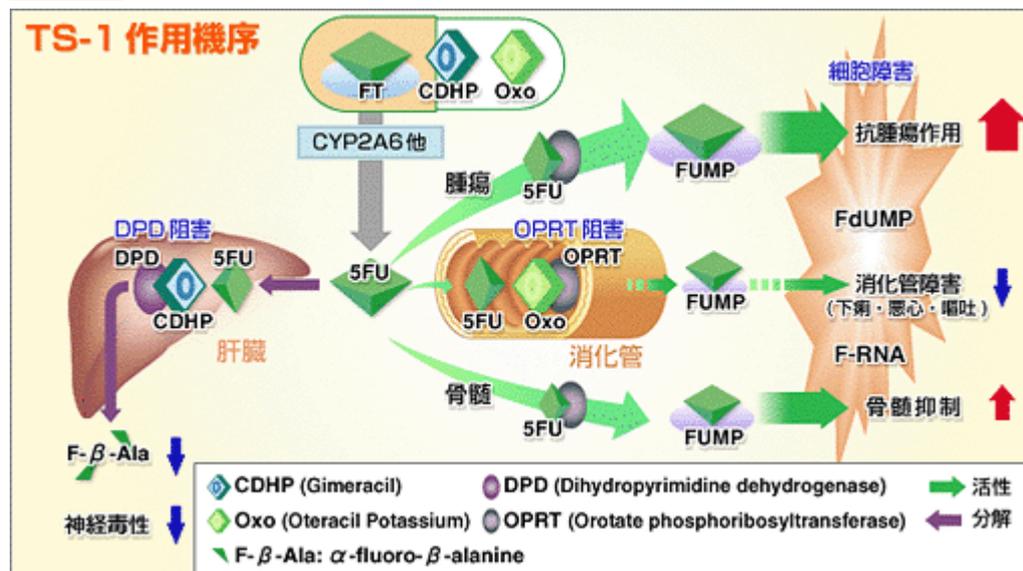
5-FU の効果を高め、副作用を軽減することを目的として開発されたフッ化ピリミジン系経口抗悪性腫瘍薬。投与制限毒性は骨髄抑制。

胃ガンについては白金製剤（シスプラチン、オキサリプラチン）との併用もある。

## 組成

抗腫瘍成分 5-FU のプロドラッグであるテガフル（FT）と、5-FU の代謝を阻害するギメラシル（CDHP）、並びに消化器毒性の緩和を目的としたオテラシルカリウム（Oxo）から成る。

## 作用機序



↑大鵬薬品 HP より

## 規格

OD錠、顆粒、カプセル。それぞれ 20mg と 25mg がある。

## 投与量の設定

投与量は 40、50、60、75mg/回の 4 段階。1 日 2 回。

体表面積 (mm<sup>2</sup>) と投与量 mg/回 (初回) は以下の通り。

体表面積 (mm <sup>2</sup> )	1.25	1.5	mm <sup>2</sup>
40mg/回	→   ←	50mg/回	→   ← 60mg/回

なお、忍容性を確認して初回量から一段だけ引き上げることができる。

腎障害患者においては、CCr60未満で減量1~2段階、CCr30未満は投与不可。

- ・最低投与量は40mg/回で、これを下回る処方はない。
- ・5-FUの代謝を阻害するギメラシルは腎排泄型であるため、腎障害患者では5-FUの濃度が上昇する恐れがある。

## 用法

1日2回、朝夕食後。

28日間連日経口投与し、その後14日間休薬する。これを1クールとして投与を繰り返す。

- ・次のクールを開始する条件として、患者の体調が回復していること。  
(大鵬薬品HPに適正使用の目安あり)
- ・実際には副作用により14日服用→7日休薬を1クールとする処方が多い模様。
- ・食後服用の理由は、オテラシルカリウムの吸収率増大によるテガフルの薬効低下を避けるため。

## 検査

投与制限毒性が「骨髄抑制」であるため、臨床検査を2週間に一度はおこなう。

## 副作用

骨髄抑制による血球、血小板減少。肝障害、消化器障害、味覚異常、色素沈着、流涙等。

自覚的副作用として20-40%にみられるものは食欲不振、悪心嘔吐、下痢、口内炎、色素沈着。他に味覚障害、発疹、流涙。一般に投与開始から4週までに頻発。

副作用が現れた場合は減薬・休薬とともに制吐薬（メトクロプラミド、ドンペリドン等）や止瀉薬、整腸剤、口腔用ステロイド軟膏等で対処する。

観察事項は感冒様症状、口内炎、黄疸、発疹等。

## 禁忌・併用禁忌

本剤の成分に対する過敏症を有する患者。

重篤な骨髄抑制、肝障害、腎障害のある患者。

妊婦等。

他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤（ユーエフティーやゼローダ等）

フルシトシン（フッ化ピリミジン系抗真菌薬）

- ・ギメラシルによる作用増強の恐れがあるため、TS-1 服用前後少なくとも 1 週間は他のフッ化ピリミジン系薬を服用しない。

### 慎重投与

ワルファリンカリウムを併用した場合、ワルファリンの作用増強が見られた。機序不明。

フェニトインを併用した場合、テガフルによりフェニトインの代謝が妨げられフェニトイン中毒（吐き気、嘔吐、眼振、運動障害等）が発現することがある。

TS-1 は在宅での療養が可能な抗悪性腫瘍薬。継続することで効果を発揮するため、薬局における服薬支援が重要とされています。

